

KAGAWAアンバサダーからのお便り ～山田 吟子さん～

2013年11月

早いもので今年でフィレンツェ在住30年を迎えました。大学を卒業してすぐフィレンツェに留学しましたので、日本での生活よりもイタリアの生活の方が長くなってしまいました。最初の2年間は、フィレンツェ、ケルビーニ音楽院で勉強をし、フィレンツェ歌劇場のオーディションを受け合格。それから28年間、専属芸術団員として歌劇場で歌っております。ですので、私は、高松生まれ高松育ちですが、フィレンツェは、第2の故郷と言っても良いかと思えます。

そもそも、オペラ(歌劇)は、1597年ルネッサンス繁栄の時代にフィレンツェで生まれ、それが世界中に広まり今に至っているわけですが、日本のいわゆる歌舞伎のようにイタリアの伝統芸術です。大学で勉強していたとはいえ、まだイタリア語も堪能ではなく、20歳過ぎのオペラの知識も経験もほとんどなかった私にとっては、まったく手探りの状態で、イタリア人の中に入り、歌を覚え演技をしていくということは、何かと苦勞もありました。しかし若かったことと、幼いころからの夢がかなったという嬉しさで、本場

で世界でも一流の指揮者のもと、舞台を踏みながら勉強をし、仕事することができたということは、何物にも変えがたい喜びでした。それもやはり、家族の応援や周囲の方々のご支援があったからこそ、今の



指揮者の小澤先生とフィレンツェの劇場にて

私があるのだと大変感謝している次第です。

そしてその感謝の気持ちをかめて、この8月9日、高松のホテルにて200人の方をお迎えして、イタリア在住30周年のディナーショーを開かせて頂きました。



高松でのコンサート

これには今までの30年のいろいろな思いが込められ、亡き父への追悼の思いや、私と姉が競演する舞台が見てみたいという母の希望等から、姉にピアノ伴奏を託し、そして、デュオの相手、テノールのグラハム リスターを迎え、オペラから世界のカンツォーネ、ナポリ民謡、イタリアのポップスまでと幅広いジャンルの歌と共に、イタリア料理を味わいながらゆっくり楽しんでもらえるようにと企画しました。2人で計24曲を歌いましたが、用意をしていた数多くのアンコール曲も、時間オーバーで4曲だけとなってしまいましたが、私たちも充分楽しみながら歌うことができ大変満足に終えることができました。

2004年からKAGAWAアンバサダーをさせていただいておりますが、これからも今までのイタリアでの経験を生かし、音楽での交流のお役に立てればと心新たにしております。

ここで少しイタリアの情報もお伝えいたします。

現在、ヨーロッパでも特にギリシャ、スペイン、イタリアと経済状態が大変不安定な中、音楽、芸術を愛するイタリアでさえ文化への予算が出なくなり、劇場等も経営難の状態ですが、今年はイタリアオペラの偉大な作曲家、ジュゼッペ ヴェルディの生誕200年を記念して、世界中の劇場で彼のオペラを上演したり、特別公演を開いたり、いろいろな行事が開かれています。彼は、1813年10月10日、エミリア・ロマーニャ州のブッセート生まれ。オペラ「ナブッコ」「トロバトーレ」「リゴレット」「椿姫」「運命の力」「アイーダ」などと、数多くの名オペラ、又宗教曲を作曲しています。



私が教えているアマチュアコーラスグループ



ヴェルディコンサートでのアマチュアバレエ団

ている方もいるかもしれませんが、幅25メートル奥行き15メートルを持つ大舞台と700人収容できるホールを持つイタリア国家統一の影響を受けた約120年の歴史ある公民館です。コンサート曲目は、すべてヴェルディの有名なオペラからで、休憩なしで夜の9時から11時までの約2時間、バレエ付きのコンサートでした。(イタリアでは、普通オペラは夜の8時半から夜中の12時くらいまでの上演で、イタリア人はみんな夜型です。) 観

— 昨年はイタリア国家統一150周年でしたが、彼もその時の政治にかかわった1人で、オペラの曲の中にもその愛国心が切々と込められ、「VIVA VERDI」「ヴェルディ万歳」と、国家統一革命に国民から賞賛されるほどの愛国者でした。フィレンツェの歌劇場はもとより、私の教えているアマチュアのコーラスグループ、グラッシナ合唱団(2006年に高松でコンサートのため来日)も、10月20日、私たちの公民館のホールで、コーラス人数80名、公民館の所属するバレエ団60名、ソロ4名ピアノ伴奏そして私の指揮と計150名で、ヴェルディのオペラ合唱曲、アリア、バレエとの合同大コンサートを開催致しました。

2007年には、香川県から来ていただき「かがわウィーク」をこの公民館で開催したもので、覚えてくださっ

客は約500人入り、「アマチュアグループでここまで大きな行事を開くことができたとは」と、市長にも大賞賛の声をいただき、無事大成功に終わりました。私も、バレエと一緒にオペラの合唱曲を指揮するのは初めてで、曲数が多かったことと、「アイダ」の凱進行進曲という大曲をアマチュアのコーラスがどこまで歌えるかというところに少し不安もありましたが、皆さんの協力で、無事成功に終わり、感無量でした。

そしてコンサートの後は、いわゆる打ち上げが恒例で(アマチュアコーラスの無二の楽しみ)、みんなでパスタ、ピザなどを食べ、ドルチェとシャンパンで乾杯をし1日が終わりました。すべてボランティアなので、1日中準備に追われ大変でしたが、もちろんドルチェも自家製で、ちなみにケーキは男の人も作って持ってきてくれます。イタリア人の男性は食べるだけではなく、お料理も上手な人が多いのです。

一般的にイタリア人は怠け者と思われがちですが、そんなことはありません。遊び上手というか、十分遊びを堪能したいがために効率よく働く(仕事を早めに切り上げる)のだと思います。そして何かあると、必ず飲んで食べて陽気に騒いでいます。私のこのコーラスグループは高齢者が多いので、傾向としては、歌を勉強するというよりは、みんなで集まって楽しんで歌うというイタリア主義であります。けれど、私は日本人なので、節度を保って行儀よく真剣にすると言う方針を心がけてはいますが、60人のイタリア人相手にはなかなか大和魂は通じません。それでも、私のこのグループは、どこに歌いに行っても、エレガントでお行儀が良いグループと、いつもお褒めをいただいています。ただしこれはイタリア人から見た目の批評であって、日本人から見たらどうでしょう・・・。

今年も後わずかとなりましたが、私の来年の予定として、イタリアでも30周年のコンサートを開こうと思っています。1つは、この夏したようなディナーショーですが、もう1つ大



フィレンツェの新しい歌劇場

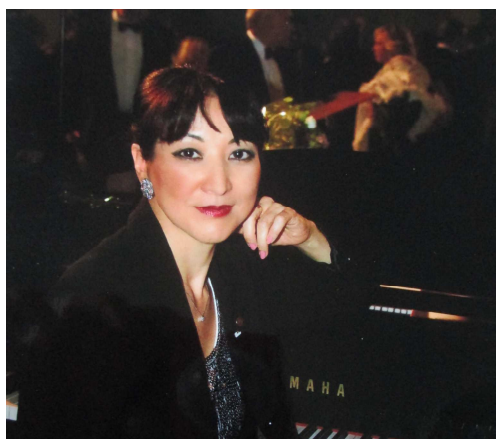
きな目標があります。それは、このアマチュアのグループで、自分たちで舞台を作り上げオペラを上演するという事です。これもまた大きな挑戦ですが、夢は大きい方がやりがいがあるのでみんなで一致団結し、この夢が実現できるようがんばっていきましょうと思っています。

このようにフィレンツェでは、地域活動のお手伝いもさせていただいていますが、ふるさとの香川でも又皆様の前で歌えますよう、楽しみにしております。

そして、皆様もイタリアにご旅行の際は、是非フィレンツェにも足を伸ばされたいかがでしょうか。フィレンツェは中世の面影を残した、芸術の花開くステキな街です。

では、又お便り致します。

2013年11月6日 山田吟子



山田 吟子（やまだ ぎんこ）さん

声楽家、フィレンツェ歌劇場所属。高松市出身。イタリアをはじめヨーロッパ各地で活躍のほか、コーラス団指導や音楽教育も行う。フィレンツェ国立歌劇場団員。

☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。